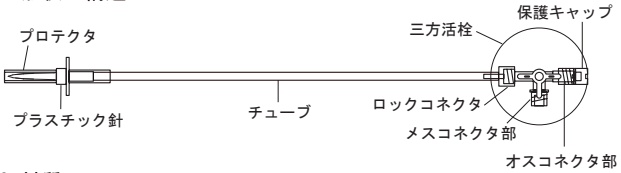
機械器具 56 採血又は輸血用器具
管理医療機器　輸血用連結管　70404000

ニプロ連結チューブ

再使用禁止

【禁忌・禁止】
1. 使用方法
 1)再使用禁止

【形状・構造及び原理等】
1. 形状・構造



2. 材質

チューブ	ポリ塩化ビニル
プラスチック針	アクリロニトリル-ブタジエン-スチレン共重合体
ロックコネクタ	ポリカーボネート
三方活栓	ポリカーボネート、ポリエチレン

ポリ塩化ビニルの可塑剤はフタル酸ジ-2-エチルヘキシルである。

【使用目的又は効果】
血液バッグ中の血液等をフローズバッグ等に移すために用いる。

【使用方法等】
1. 包装を開封し、本品を取り出します。
2. 三方活栓のコックの向きがチューブに対して閉路であることを確認します。(図1参照)
3. プロテクタを取り外し、血液バッグにプラスチック針を真っ直ぐいっぱいの深さまで刺通します。
4. 三方活栓のメスコネクタ部に注射筒を接続します。この際、血液バッグに薬液を注入したい場合は、三方活栓のコックの向きがチューブと注射筒に対して開路となっていることを確認の上、薬液を注入します。（図2参照）

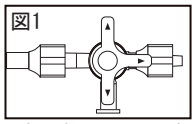


図1

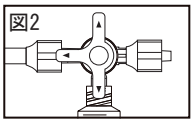


図2

5. 三方活栓のオスコネクタ部に、フローズバッグ等を接続します。
6. 三方活栓のコックの向きを、チューブと注射筒に対して開路にし、注射筒の押子を引き、血液バッグ内の血液等を吸い出します。（図3参照）
7. 三方活栓のコックの向きを、フローズバッグ等と注射筒に対して開路にし、注射筒の押子を押し、フローズバッグ等に血液等を移します。（図4参照）

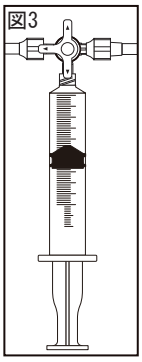


図3

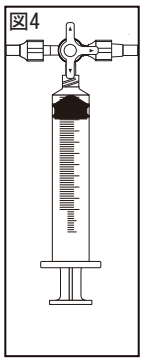
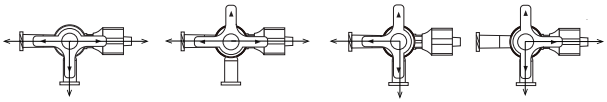


図4

8. 血液等の移注が完了するまで、6.及び7.の手順を繰り返します。
9. 使用後は、感染防止に留意して廃棄します。

＜使用方法等に関連する使用上の注意＞
1. プラスチック針を血液バッグに刺通する際、斜めに刺通したり、横方向に力をかけないでください。［プラスチック針の破損のおそれがあります。］
2. 三方活栓のコックの向きと流路は下記のとおりです。↑の位置が開路でそれ以外の位置は閉路となります。使用時は流路を適宜確認しながら使用してください。



【使用上の注意】
1. 重要な基本的注意
 1)本品は合成樹脂製品のため、温度が低下するにつれて強度が低下することから、取扱いには注意すること。[破損のおそれがある。]
 2)本品は可塑剤であるフタル酸ジ-2-エチルヘキシルが溶出するおそれがある。
 3)汚染を防ぐため、コネクタの接合部分等の血液等が接触する部分には直接手を触れないこと。
 4)コネクタに接続する場合は、過度な締め付けをしないこと。［コネクタが外れなくなる、又はコネクタが破損し、接続部分から血液等が漏れるおそれがある。］
 5)チューブとコネクタ等の接続部分を過度に引張る、押し込む、折り曲げるような負荷をかけないよう注意すること。
 6)使用中は本品の破損、接続部の緩み及び液漏れ等について、定期的に確認すること。
 7)脂肪乳剤及び脂肪乳剤を含む医薬品、ヒマシ油等の油性成分、界面活性剤又はアルコール等の溶解補助剤などを含む医薬品を投与する場合及びアルコールを含む消毒剤を使用する場合は、三方活栓のひび割れについて注意すること。［薬液により三方活栓にひび割れが生じ、液漏れ及び空気混入等の可能性がある。なお、ライン交換時の締め直し、過度な締め付け及び増し締め等は、ひび割れの発生を助長する要因となる。］
 8)ひび割れが確認された場合は、直ちに新しい製品と交換すること。

2. 不具合・有害事象
 1)その他の不具合
 (1)血液漏れ
 (2)本品の破損
 (3)接続部の外れ
 (4)空気混入

【保管方法及び有効期間等】
1. 保管方法
水ぬれに注意し、直射日光、高温多湿を避けて保管すること。

2. 有効期間
包装の使用期限欄を参照のこと。
有効期間：滅菌後3年（自己認証による）

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】
製造販売（お問い合わせ先）
ニプロ株式会社
電話番号：06-6372-2331（代表）

製造
ニプロ株式会社

針先注意
処置後の誤刺注意

NIPRO　ニプロ株式会社